

地域保健医療計画 進捗状況

～平成26年度の実施状況等が記載されています。～

◆平成27年度の実施状況等に時点修正してください。
 ※不要なものは削除、変更・追加は赤字で記載してください。》

※1 疾病・事業の達成状況

区分	評価内容
4	全体的に順調
3	比較的順調
2	一部に努力を要する
1	全体的に努力を要する

※2 項目に対する達成状況

項目の達成度	達成状況		
	想定以上	想定通り	想定以下
1	5	2	1
2	7	4	3
3	9	8	6

→コスト・期間の達成度→

団体名	
-----	--

疾病・事業	疾病・事業の達成状況 ※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況 ※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
予防対策(がん～精神疾患) 【目指す姿】 ○がん検診及び特定健康診査の受診率が向上し、がんや生活習慣病のリスクの早期発見、リスクの低減と適切な治療等により、平均寿命と健康寿命との差(日常生活に制限のある、不健康な期間)を短縮します。 ○また、生活習慣病を予防するため、住民自らが子どもの頃から望ましい栄養・食生活、身体活動、禁煙等の生活習慣が確立できるような体制が整っています。 ○飲食店等を含め、公共的な場所の禁煙化を推進し、家庭・学校・地域と連携した受動喫煙防止対策についての取組みが進んでいます。 ○身近な地域で精神保健に関する啓発や相談及び支援を受けられる体制が整備され、自殺死亡率が減少します。		がん・生活習慣病の発症、重症化及び合併症発症予防の推進	○がん検診、特定健康診査の受診率向上に取り組めます。 ・がん検診、特定健康診査を受けやすい体制整備 ・受診のメリットや有効性等受診率向上に向けた広報活動の強化 ・継続受診の促進、未受診者(治療中の人を含む)への受診勧奨 ・要精検者への医療機関への受診勧奨及び受診状況の把握 ・ハイリスクの未受診者に対する積極的な受診勧奨と健康教育・保健指導等による事後フォローの徹底 ○効果的な健康教育の実施に努めます。 ○ウイルスの持続感染が原因となって発症するがん(肝がん、子宮頸がん)の感染予防、早期発見及び重症化予防に取り組む、子宮頸がん予防ワクチン接種の推進に努めます。 ○肝炎ウイルス検査体制等の充実を図り、肝炎治療特別推進事業の円滑な実施に努めます。 ○がん・生活習慣病を予防するため、正しい生活習慣(栄養・食生活、身体活動・運動、喫煙等)の確立に取り組むとともに、健全な食生活が実践できる「食育」の推進に取り組めます。 ○生活習慣病発症リスク(肥満、血糖値及び血圧の上昇等)を低減するため、身体活動・運動の活発化(日常活動生活における歩数の増加、運動習慣の定着)の推進に取り組めます。 ○世界禁煙デー及び禁煙週間を中心に禁煙及び受動喫煙防止対策の機運を高めます。 ○全身の健康と関連の認められる歯科疾患(う蝕、歯周疾患)の予防対策の推進及び定期的な歯科健診の受診の勧奨に取り組めます。	平成26年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成27年度の実施状況等に時点修正してください。 【不要なものは削除、変更・追加は赤字で記載してください。】		・平成25年6月から、HPVワクチン定期接種の積極的な勧奨が一時中止されました。国の状況を見ながら適切に判断・対応することとします。	
			【福山市医師会】 ○世界禁煙デー及び禁煙週間にあわせ、ポスターなどにより禁煙および受動喫煙防止対策の機運を高めました。 【深安地区医師会】 ○平成26年7月12日に福山市民病院と肝疾患診療連携拠点病院市民公開講座「あなたは大丈夫ですか？肝臓の病気」を共催しました。 ○平成26年10月18日に福山市民病院とがん診療連携フォーラム市民講座「隣がん」を共催しました。 ○治療中の方の特定健康診査推進のため、医療機関へポスター掲示、チラシの配布を行いました。 【松永沼隈地区医師会】 ○平成26年7月12日に福山市民病院と肝疾患診療拠点病院市民公開講座「あなたは大丈夫ですか？肝臓の病気」を共催しました。 ○平成26年10月18日に福山市民病院とがん診療連携フォーラム市民公開講座「隣がん」を共催しました。 ○平成27年2月14日に福山医療センター市民公開講座2015「婦人科がんのすべて」を後援をしました。 ○がん検診受診勧奨ポスターなどにより、受診率向上に取り組めました。 ○禁煙勧奨ポスターなどにより、禁煙及び受動喫煙防止対策の機運を高めました。 【府中地区医師会】 ○パンフレット、ポスター等により、特定健診・がん検診を勧奨しました。 ○府中市からの依頼で地域健康教育(高血圧予防・糖尿病予防など生活習慣病予防講演)に講師を派遣しました。また、府中市、福山市の健康福祉まつりにおける健康相談に医師を派遣しました。 ○府中地域産業保健センター健康相談窓口で、担当医師による健診結果に基づく保健指導を実施しました。また全国労働衛生週間説明会時に各地で講演しました。「職場におけるメタボリックシンドローム対策」の必要性を4か所で啓発しました。 ○生活習慣の乱れやストレスの蓄積から生じる心や身体の不調や病気の予防に向けての小冊子を作成し、市民へ配布しました。 【福山市薬剤師会】 ○広島県と広島県薬剤師会との協定による「がん検診サポート薬剤師育成」事業に協力しました。 ・平成26年12月4日に育成研修会を開催。現在圏域で50名が活動中。 ○ばら祭りでの福山市医師会主催「禁煙にチャレンジ」ブースにて、禁煙補助剤の説明、指導実施を行いました。 ○世界禁煙デーにおける福山市役所イベントにおいて、禁煙補助剤の説明、指導実施を行いました。 ○健康フェスティバル2014において、禁煙補助剤の説明、指導実施を行いました。 ○学校薬剤師による小・中学校での「タバコの害・防煙」に関する出前授業を実施しました。				

疾病・事業	疾病・事業の達成状況 ※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況 ※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>予防対策(がん～精神疾患)</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ がん検診及び特定健康診査の受診率が向上し、がんや生活習慣病のリスクの早期発見、リスクの低減と適切な治療等により、平均寿命と健康寿命との差(日常生活に制限のある、不健康な期間)を短縮します。 ○ また、生活習慣病を予防するため、住民自らが子どもの頃から望ましい栄養・食生活、身体活動、禁煙等の生活習慣が確立できるような体制が整っています。 ○ 飲食店等を含め、公共的な場所の禁煙化を推進し、家庭・学校・地域と連携した受動喫煙防止対策についての取組みが進んでいます。 ○ 身近な地域で精神保健に関する啓発や相談及び支援を受けられる体制が整備され、自殺死亡率が減少します。 	<p>がん・生活習慣病の発症、重症化及び合併症発症予防の推進</p>	<p>○ がん検診、特定健康診査の受診率向上に取り組めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん検診、特定健康診査を受けやすい体制整備 ・受診のメリットや有効性等受診率向上に向けた広報活動の強化 ・継続受診の促進、未受診者(治療中の人を含む)への受診勧奨 ・要精検者への医療機関への受診勧奨及び受診状況の把握 ・ハイリスクの未受診者に対する積極的な受診勧奨と健康教育・保健指導等による事後フォローの徹底 <p>○ 効果的な健康教育の実施に努めます。</p> <p>○ ウイルスの持続感染が原因となって発症するがん(肝がん、子宮頸がん)の感染予防、早期発見及び重症化予防に取り組む、子宮頸がん予防ワクチン接種の推進に努めます。</p> <p>○ 肝炎ウイルス検査体制等の充実を図り、肝炎治療特別推進事業の円滑な実施に努めます。</p> <p>○ がん・生活習慣病を予防するため、正しい生活習慣(栄養・食生活、身体活動・運動、喫煙等)の確立に取り組むとともに、健全な食生活が実践できる「食育」の推進に取り組めます。</p> <p>○ 生活習慣病発症リスク(肥満、血糖値及び血圧の上昇等)を低減するため、身体活動・運動の活発化(日常生活活動における歩数の増加、運動習慣の定着)の推進に取り組めます。</p> <p>○ 世界禁煙デー及び禁煙週間を中心に禁煙及び受動喫煙防止対策の機運を高めます。</p> <p>○ 全身の健康と関連の認められる歯科疾患(う蝕、歯周疾患)の予防対策の推進及び定期的な歯科健診の受診の勧奨に取り組めます。</p>	<p>〔福山医療センター〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オープンカンファレンスを開催しました。 ・平成26年4月24日「生活習慣病の中に潜むHIV感染症」 ・平成26年5月16日「大腸癌化学療法の実際とupgate」 ・平成26年6月19日「遺伝子性乳がん卵巣がん(HBOC)診療のポイント」 ・平成26年7月11日「中国における食道癌治療の現状及び展望」 ・平成26年9月5日「高精度放射線治療の現状と展望」 ・平成26年10月8日「肝臓に対する肝移植の適応と複合臓器移植」 ・平成26年10月10日「肝臓のストレス応答について-脂肪肝からNASHへ- <p>〔福山市民病院〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 肝疾患診療連携拠点病院として、肝炎に対する医療費助成・ウイルス検査・治療法等知識の普及啓発及び県東部の肝疾患診療体制の確保と診療の質の向上を図るため、次のような事業を実施しました。 ・肝疾患相談室の設置による情報提供及び収集 ・肝炎専門医療機関連絡会、医療従事者研修会の開催 ・肝臓病教室の開催(年4回) <p>〔中国中央病院〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 左記、実施可能な範囲で実施しました。 <p>〔日本鋼管福山病院〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2名の乳腺専門医による充実した体制の整備を行いました。 ○ 人間ドック受診者のオプションに乳腺超音波検査を導入しました。 ○ 乳がん検診受診率向上のため、市民公開講座を開催しました。(平成26年度1回) ○ 平成26年4月から当院の敷地内を禁煙とし、平成26年10月から禁煙外来を開始しました。 ○ 平成26年12月2日、福山市医師会主催の研修会「子宮がん検診について」に参加しました。 <p>〔福山市〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ がん検診の要精検受診結果を健診実施機関に問い合わせ、未受診者に対して医療機関への受診勧奨を実施しました。 ○ 地区診断により、地域の健康課題に合わせた健康教育・健康相談を実施しました。 ○ 平成26年7月8日に、啓発パネル展示会場で健診を実施しました。 ○ 平成26年8月5日・6日に、老人大学で健診を実施しました。 ○ 慢性腎臓病(CKD)及び健診受診の啓発ポスターを医療機関へ掲示依頼しました。 ○ CKD予防対策事業を開始し、重症化予防に取り組めました。 ○ 県との協働による健診受診勧奨はがきを送付しました。 ○ 平成26年10月～12月に、電話による健診受診勧奨を実施しました。 ○ 特定保健指導対象者に対して、受診勧奨域の者への受診勧奨を実施しました。 ○ 平成26年11月19日・21日に公衆衛生推進協議会と一緒に大型商業施設で街頭啓発を実施しました。 ○ 平成26年11月20日、12月4日に福山リビング新聞社と女性スタッフによるレディース健診(子宮頸がん検診)を実施しました。 ○ 健康増進事業及び特定感染症検査等事業における肝炎陽性者に対して、専門医療機関への受診勧奨を実施し、肝炎健康管理手帳を交付するとともに、広島県肝疾患患者フォローアップシステムへの登録を促しました。 ○ 医療機関における肝炎ウイルス検診を実施しました。 ○ 健康ふくやま21フェスティバル会場において、肝炎ウイルス検診を実施しました。 ○ 肝炎ウイルス陽性者に対する指導を実施しました。(集団健診受診者) ○ 第2次福山市健康増進計画・食育推進計画に基づき、生活習慣病予防の健康教育・健康相談・啓発事業等を実施しました。 ○ 運動習慣を定着するため、運動普及推進員の運動教室や健康運動指導士による実技指導を実施しました。また、ウォーキングによる健康づくりを推進するため、各学区ごとにウォーキングマップを活用し、運動教室等においてウォーキングを実施しました。 ○ 世界禁煙デー及び禁煙週間に合わせて、市役所等4会場で禁煙パネル展を実施しました。また、2会場で禁煙相談、呼気中一酸化炭素濃度測定を実施しました。 ○ 受動喫煙防止啓発として、イエローグリーンリボン(たばこの煙を吸いたくない意思表示)運動を展開しました。 ○ 「歯の衛生週間」や「いい歯の日」にちなんだ健康教室やパネル展示を実施しました。また、妊婦歯科健診を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年6月から、HPVワクチン定期接種の積極的な勧奨が一時中止されました。国の状況を見ながら適切に判断・対応することとします。 			

疾病・事業	疾病・事業の達成状況 ※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況 ※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>【目指す姿】</p> <p>○ がん検診及び特定健康診査の受診率が向上し、がんや生活習慣病のリスクの早期発見、リスクの低減と適切な治療等により、平均寿命と健康寿命との差(日常生活に制限のある、不健康な期間)を短縮します。</p> <p>○ また、生活習慣病を予防するため、住民自らが子どもの頃から望ましい栄養・食生活、身体活動、禁煙等の生活習慣が確立できるような体制が整っています。</p> <p>○ 飲食店等を含め、公共的な場所の禁煙化を推進し、家庭・学校・地域と連携した受動喫煙防止対策についての取組みが進んでいます。</p> <p>○ 身近な地域で精神保健に関する啓発や相談及び支援を受けられる体制が整備され、自殺死亡率が減少します。</p>	<p>がん・生活習慣病の発症、重症化及び合併症発症予防の推進</p>	<p>○ がん検診、特定健康診査の受診率向上に取り組めます。</p> <p>・がん検診、特定健康診査を受けやすい体制整備</p> <p>・受診のメリットや有効性等受診率向上に向けた広報活動の強化</p> <p>・継続受診の促進、未受診者(治療中の人を含む)への受診勧奨</p> <p>・要精検者への医療機関への受診勧奨及び受診状況の把握</p> <p>・ハイリスクの未受診者に対する積極的な受診勧奨と健康教育・保健指導等による事後フォローの徹底</p> <p>○ 効果的な健康教育の実施に努めます。</p> <p>○ ウイルスの持続感染が原因となって発症するがん(肝がん、子宮頸がん)の感染予防、早期発見及び重症化予防に取り組む、子宮頸がん予防ワクチン接種の推進に努めます。</p> <p>○ 肝炎ウイルス検査体制等の充実を図り、肝炎治療特別推進事業の円滑な実施に努めます。</p> <p>○ がん・生活習慣病を予防するため、正しい生活習慣(栄養・食生活、身体活動・運動、喫煙等)の確立に取り組むとともに、健全な食生活が実践できる「食育」の推進に取り組めます。</p> <p>○ 生活習慣病発症リスク(肥満、血糖値及び血圧の上昇等)を低減するため、身体活動・運動の活発化(日常生活活動における歩数の増加、運動習慣の定着)の推進に取り組めます。</p> <p>○ 世界禁煙デー及び禁煙週間を中心に禁煙及び受動喫煙防止対策の機運を高めます。</p> <p>○ 全身の健康と関連の認められる歯科疾患(う蝕、歯周疾患)の予防対策の推進及び定期的な歯科健診の受診の勧奨に取り組めます。</p>	<p>平成26年度の実施状況等が記載されていますので、</p> <p>◆平成27年度の実施状況等に時点修正してください。</p> <p>【不要なものは削除、変更・追加は赤字で記載してください。】</p>				
			<p>[府中市]</p> <p>○ がん検診、特定健康診査の受診率向上に取り組めました。</p> <p>・がん検診・特定健康診査を同時実施しました。(集団健診6月10日間、10～11月12日間)</p> <p>・受診率向上のための健康教育と広報活動を行いました。</p> <p>・継続受診の促進事業(ゴールドカードの発行と特典、継続受診者への受診料の助成)</p> <p>・未受診者(治療中の人を含む)の電話受診勧奨(8～9月に10日間、12月～2月(予定))</p> <p>・未受診者の健診受け入れ体制強化(医師会・市立病院と連携)</p> <p>・生活習慣病の治療情報提供の推進(6～3月)</p> <p>・がん精検未受診者の受診勧奨及び結果把握</p> <p>○効果的な保健指導を実施しました。</p> <p>・訪問等を取り入れた特定保健指導の実施と血液検査による評価</p> <p>・糖尿病予防教室の実施</p> <p>○がん・生活習慣病を予防のための生活習慣の改善推進、食育を推進しました。</p> <p>○ 生活習慣病発症リスク(肥満、血糖値上昇等)を低減するため、身体活動・運動の活発化(日常生活活動における歩数の増加、運動習慣の定着)を推進しました。</p> <p>・定例ウォーキングの推進(8地区)</p> <p>・みんなで歩こう会、地域ふれあいウォーキングの開催</p> <p>・てくてくウォーキング手帳の発行</p> <p>・ウォーキングマスターを育成</p> <p>・夢体操普及のための体操指導員活動</p> <p>・新健康体操「府中焼きマンボ体操」の作成と指導員の育成</p> <p>・「府中焼きマンボ体操」指導用のリーフレットとDVD、CDの作成</p> <p>○肝炎ウイルス要精検者の訪問による受診勧奨とフォローアップシステム登録を勧奨しました。</p> <p>○歯周疾患検診、障害者歯科健診を勧奨・実施しました。</p>				
			<p>[神石高原町]</p> <p>○がん検診、特定健康診査、歯周病健診を同日に実施しました。</p> <p>・受けやすい体制として旧町村時代から継続</p> <p>・実施場所は4会場とし、利便性を考慮</p> <p>・事前に申し込み制とし、組織を通して手引書兼申込書を配布し、周知を図る</p> <p>・実施時期も例年通り固定、さらに秋に個別健診を未受診者へ通知し、受診勧奨</p> <p>・要精検者へは後日勧奨通知の後、必要に応じて電話、訪問で対応</p> <p>○衛生教育を実施しました。</p> <p>・出前健康教室、運動教室等地域からの要望に応じテーマを設定して、各地域で実施</p> <p>・特定保健指導対象者以外にも専門スタッフにより教室を開催</p> <p>・乳幼児期から高齢者に至るまでブラッシング指導やフッ素塗布、歯科健診の実施</p> <p>・歯衛協と連携して歯科保健講演会、8020表彰、お口の川柳等一般や小中学校から募集し口腔に関する意識啓発実施</p>			<p>・平成25年6月から、HPVワクチン定期接種の積極的な勧奨が一時中止されました。国の状況を見ながら適切に判断・対応することとします。</p>	
			<p>[地対協]</p> <p>○健康増進計画委員会(委員会2回)及び実務者会議(会議3回)を開催しました。</p> <p>【主な検討内容】</p> <p>・がん検診の受診率向上対策についての協議</p> <p>・受動喫煙防止対策についての協議</p> <p>・歯周疾患予防対策についての協議</p> <p>○健康ひろしま21圏域計画推進に関する研修会を開催しました。(12月2日 参加者76名)</p> <p>・情報提供 「広島県におけるがん検診受診率向上対策事業について」</p> <p>・講演 「子宮頸がん治療の現状とがん検診受診率向上対策について」</p> <p>がん検診等の受診率向上対策の一環及び関係者の資質の向上を目的とし、広島県健康福祉局がん対策課長から、広島県のがん対策の現状と全国初となる企業連携のがん対策の取組についての情報提供がありました。広島大学病院副院長・産科婦人科診療科長の工藤美樹教授を講師に迎え、子宮頸がん治療の現状とがん検診の重要性について講演会を実施しました。行政や医師会等の関係者が子宮頸がんの基礎と臨床、検診による早期発見の必要性やワクチン予防接種の重要性を認識し、がん検診普及啓発のための意識付けができました。</p> <p>○健康ひろしま21(第2次)圏域計画の推進を実施主体別アクションをもとに、保健課及び市町等の関係機関で圏域計画の推進に取り組めました。各実施主体による平成25年度の推進状況についてまとめ、次年度からの取組の見直し等へ活かせるよう、関係機関との情報共有を図りました。</p> <p>【成果物】</p> <p>・がん検診普及啓発資料として、平成25年度に開催した「健康ひろしま21圏域計画推進に関する研修会乳がん研修会」の報告書(600部)とマンモグラフィ検査啓発のファイル(1000部)を作成し、市町・医療等関係機関、保健行政関係者等へ配布・啓発しました。</p> <p>○地域がん診療連携拠点病院が開催する、市民公開講座を支援(共催・後援)しました。</p>				

疾病・事業	疾病・事業の達成状況 ※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況 ※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>予防対策（がん～精神疾患）</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ がん検診及び特定健康診査の受診率が向上し、がんや生活習慣病のリスクの早期発見、リスクの低減と適切な治療等により、平均寿命と健康寿命との差（日常生活に制限のある、不健康な期間）を短縮します。 ○ また、生活習慣病を予防するため、住民自らが子どもの頃から望ましい栄養・食生活、身体活動、禁煙等の生活習慣が確立できるような体制が整っています。 ○ 飲食店等を含め、公共的な場所の禁煙化を推進し、家庭・学校・地域と連携した受動喫煙防止対策についての取組みが進んでいます。 ○ 身近な地域で精神保健に関する啓発や相談及び支援を受けられる体制が整備され、自殺死亡率が減少します。 	健康づくりに、積極的・継続的に取り組める社会環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 望ましい生活習慣を確立し、ライフステージに応じた効果的な食育推進に取り組めます。 ・適正な食品表示が行われるよう関係機関が連携し、食品の表示指導・点検を実施します。 ・健康づくり実践の支援等を行う店舗（健康生活応援：栄養成分表示、ヘルシーメニュー提供、禁煙・分煙・禁煙支援等）の増加に取り組めます。 ○ 公共施設等における敷地内の禁煙化を推進し、ライフステージに応じ身近な場所で喫煙防止・禁煙支援が行われる体制整備を推進します。 	<p>【福山市医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成26年5月17日、5月18日に開催された、福山ばら祭2014における会場内禁煙を維持するため、福山市と医師会37医療機関が協力して看板設置などの取り組みを実施しました。 ○イエローグリーンリボン運動の啓発活動として、リボン・ポスターを作製し、ばら祭などのイベント、研修会でのリボンの配布やポスターを配布し、啓発活動を行いました。 <p>【福山市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎月19日又は毎月29日に地場産農水産物を使用した試食会を実施し、「食育」と「地産地消」の啓発を実施しました。 ○第3回臨床高血圧フォーラム減塩サミットin広島2014にて「減塩」のパネル展示を実施しました。 ○ヘルシーメニューコンテストを市民対象に実施し、健康ふくやま21フェスティバルで表彰しました。 ○健康ふくやま21フェスティバル、福山うずみフェスタで「減塩川柳や適正体重の計算方法」を募集や啓発することで、「減塩」「食育」「地産地消」「適正体重の維持」の啓発を実施しました。 ○健康ふくやま21フェスティバルにおいて、健康生活応援店の啓発を実施しました。 ○平成27年2月1日に、福山市食育講演会を実施しました。 ○広島県食品表示適正化推進月間に、関係団体と連携して、食品関係施設において食品表示の監視指導を実施しました。 ○公共施設等における受動喫煙防止対策に関する通知を、市の施設管理関係課に情報提供し、適切な受動喫煙防止措置を講じるよう周知しました。 ○世界禁煙デー及び禁煙週間に合わせて、市役所等4会場でパネル展を実施しました。また、2会場で禁煙相談、呼気中一酸化炭素濃度測定を実施しました。 ○受動喫煙防止啓発として、イエローグリーンリボン（たばこの煙を吸いたくない意思表示）運動を展開しました。 ○世界禁煙デーにあわせて、福山市保健所を含む福山すこやかセンターの敷地内禁煙を実施しました。 ○市内小中学校へ薬剤師等の講師が出向き、喫煙による健康への影響の講演会を実施しました。 ○保健所職員を対象としたたばこ対策講演会を実施しました。 <p>【府中市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 望ましい生活習慣の確立とライフステージに応じた食育を推進しました。 ・健康生活応援店の増加に取り組みしました。 (H26.12.31現在の店舗数：禁煙・分煙14店舗、食生活支援22店舗、延36店舗) ・食育推進委員会を開催し、関係課、関係機関が連携して食育に取り組みました。 ・健康&福祉まつりで、地域活動栄養士による食育推進のための実演会を開催しました。 ○ 公共施設等における敷地内の禁煙の推進と禁煙希望者の個別禁煙教育を実施しました。 <p>【神石高原町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行政の各課を超えて連携しました。 ・食育推進ネットワーク協議会設置により各担当課部会制で課題に取り組み実施 ○出前健康教室を実施しました。 ・地域で調理実習を含め減塩について指導 ○母子保健事業の中で実施しました。 ・乳幼児の集まり、妊婦教室等で食育に関する情報提供、指導の実施 ○心と体の健康づくりとして、ウォーキングの会とウォーキング大会を実施しました。 <p>【東部保健所福山支所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食育推進圏域連絡会議を2回開催し、関係機関との情報交換を行い、食育推進に向けた情報提供等を行いました。 ○農林や農政局、市町関係機関等と連携し食品表示に係る点検を実施しました。来所による食品製造事業者への相談や適正な表示について指導しました。 ○受動喫煙防止対策及び健康生活応援店普及事業において、禁煙・分煙応援店や食生活応援店の拡大に向けた事業に取り組みしました。 (H27.1.6現在の店舗数：禁煙・分煙18店舗、食生活支援16店舗、その他9店舗、延43店舗) ○5～6月の世界禁煙週間や9月の健康増進普及月間等の機会に、庁舎における禁煙化、受動喫煙防止対策の啓発に取り組みしました。 ○平成26年2月～福山庁舎敷地内の喫煙場所を見直し、受動喫煙防止への取組みが進められました。 				

疾病・事業	疾病・事業の達成状況 ※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況 ※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ がん検診及び特定健康診査の受診率が向上し、がんや生活習慣病のリスクの早期発見、リスクの低減と適切な治療等により、平均寿命と健康寿命との差(日常生活に制限のある、不健康な期間)を短縮します。 ○ また、生活習慣病を予防するため、住民自らが子どもの頃から望ましい栄養・食生活、身体活動、禁煙等の生活習慣が確立できるような体制が整っています。 ○ 飲食店等を含め、公共的な場所の禁煙化を推進し、家庭・学校・地域と連携した受動喫煙防止対策についての取組みが進んでいます。 ○ 身近な地域で精神保健に関する啓発や相談及び支援を受けられる体制が整備され、自殺死亡率が減少します。 	<p>このころの健康の保持増進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ このころの健康問題が正しく理解されるよう、相談事業や医療機関情報等の普及啓発に取り組むとともに、市町等と連携し、早期相談及び早期受診の促進に努めます。 ○ 身近な地域において精神保健福祉に関する専門相談が受けられる体制整備を推進し、必要に応じ関係機関と連携し支援を実施します。 ・勤労者世代へのうつ・自殺予防対策に係る関係機関の連携及び自殺ハイリスク者対策を推進し、医療連携によるサポートシステムの構築を図ります。 ○ 認知症患者に対する支援体制の充実に取り組みます。 	<p>実施状況</p> <p>平成26年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成27年度の実施状況等に時点修正してください。 【不要なものは削除、変更・追加は赤字で記載してください。】</p>				
			<p>〔深安地区医師会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○うつ・自殺対策サポートを、産業医、かかりつけ医、精神科医で連携して行いました。 ○「平成26年度広島県認知症疾患医療センター合同研修会」開催を後援しました。 				
			<p>〔府中地区医師会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○かかりつけ医と精神科医の紹介連携システムの活用を図りました。(H22.2月から府中地区医師会として稼働) ○府中地域産業保健センターとしてメンタルヘルス相談日(年3回)を開催しました。 ○府中市の依頼で健康教育(うつ自殺対策、認知症予防)に講師を派遣しました。 ○メンタルヘルスパフレットを配布しました。 				
			<p>〔福山医療センター〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○がん相談支援センターを開設しています。 ○がんサロンミニレクチャーを開催しました。 ・平成26年4月11日「在宅の先生に聞く家で過ごすための緩和ケア」 ・平成26年5月9日「がんで使う痛み止め」 ・平成26年6月13日「書道の先生と作る自分だけの納涼うちわ」 ・平成26年7月11日「がん治療のつらさを緩和するお薬」 ・平成26年9月20日「(同上)」 ・平成26年10月10日「ご紹介します！がん領域の新薬誕生のしくみ」 ・平成26年11月14日「緩和ケアってなあに？」 ・平成27年1月9日「リンパ浮腫ってなあに？」 ・平成27年2月13日「抗がん剤の副作用はこうやってのりきろう！」(予定) ・平成27年3月13日「食事について」(予定) 				
			<p>〔中国中央病院〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○がん相談支援室を開設しました。 				
			<p>〔福山市〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○精神保健福祉相談日を開設しました。 ○市民啓発として、精神保健福祉講演会や健康教室を実施しました。 ○認知症について正しく理解し、認知症の人と家族を見守り、支援するための認知症サポーター養成講座を、地域、企業、消防署、小中学校等で実施しました。また、講座修了者を対象に認知症サポーターステップアップ研修を実施し、地域でのボランティア活動を推進しました。 ○認知症サポーター養成講座の講師を務めるキャラバン・メイトの資質向上のため、研修会を実施しました。今年度は、認知症疾患医療センターから医師を招いて研修を実施しました。 				

疾病・事業	疾病・事業の達成状況 ※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況 ※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>予防対策(がん～精神疾患)</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ がん検診及び特定健康診査の受診率が向上し、がんや生活習慣病のリスクの早期発見、リスクの低減と適切な治療等により、平均寿命と健康寿命との差(日常生活に制限のある、不健康な期間)を短縮します。 ○ また、生活習慣病を予防するため、住民自らが子どもの頃から望ましい栄養・食生活、身体活動、禁煙等の生活習慣が確立できるような体制が整っています。 ○ 飲食店等を含め、公共的な場所の禁煙化を推進し、家庭・学校・地域と連携した受動喫煙防止対策についての取組みが進んでいます。 ○ 身近な地域で精神保健に関する啓発や相談及び支援を受けられる体制が整備され、自殺死亡率が減少します。 	<p>こころの健康の保持増進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ こころの健康問題が正しく理解されるよう、相談事業や医療機関情報等の普及啓発に取り組むとともに、市町等と連携し、早期相談及び早期受診の促進に努めます。 ○ 身近な地域において精神保健福祉に関する専門相談が受けられる体制整備を推進し、必要に応じ関係機関と連携し支援を実施します。 ・勤労者世代へのうつ・自殺予防対策に係る関係機関の連携及び自殺ハイリスク者対策を推進し、医療連携によるサポートシステムの構築を図ります。 ○ 認知症患者に対する支援体制の充実に取り組みます。 	<p>〔府中市〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○心の健康相談を開設しました。 ・精神保健福祉士による相談(毎月2回)、精神科医師による相談(年1回)、心のケア相談(集団健診ではストレスチェックを行い、必要者に心の相談や専門機関を紹介、22日間) ○啓発講演会を開催しました。 ・精神保健福祉講演会(6・9・10・2・3月) ・事業場の依頼により、心の健康づくりについての研修会に職員を派遣 ○人材育成研修会を開催しました。 ・管理監督者研修会(10・11月) ・メンタルサポート支援者研修会(8・9・10月) ○啓発活動を実施しました。 ・うつ・自殺予防啓発パンフレット配布 ・自殺対策キャンペーン事業(3月) ・働く人のセルフチェックのしおりを作成し配布します。 ・認知症の講演会を開催しました。 ○心の支援ネットワーク会議、事業場健康づくり推進委員会等を開催し、関係機関の連携を強化しました。 <p>〔神石高原町〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定期相談を実施しました。 ・年間計画表を作成し配布 ・精神科医師、精神保健福祉士、保健師を中心に予約制にて実施 ○障害ボランティア活動を実施しました。 ・継続研修 ・ゲートキーパーの新規養成 ・各事業への支援、援助 ○当事者支援を実施しました。 ・家族会支援 ・毎月ソーシャルクラブ実施 ・障害者サロンの実施 <p>〔東部保健所福山支所〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○府中市に年2回、神石高原町に年6回出向き、専門医によるこころの健康相談を実施しました。 ○市町等関係機関がかかえる困難事例の相談に応じ、関係機関と連携を図り、早期受診等の対応を行いました。 ○自殺予防週間及び自殺対策強化月間時に、ポスター展示等で普及啓発を行いました。 <p>〔地対協〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○うつ・自殺対策医療連携協議会において、勤労者世代のうつ・自殺対策を検討しました。(3回開催) ○産業保健関係者研修会を開催しました。(2回開催 延177人参加) ○職場のメンタルヘルス対策を推進するための参考資料集を作成・配布します。(予定) ○ストレスの気づきや解消方法、こころの健康や相談窓口の周知を図るためリーフレットを関係機関に配付しました。 ○不眠に悩む人に相談・受診を促すため、のぼり旗「眠れていますか」を配布しました。 				

平成26年度の実施状況等が記載されていますので、
◆平成27年度の実施状況等に時点修正してください。
〔不要なものは削除、変更・追加は赤字で記載してください。〕

疾病・事業	疾病・事業の達成状況 ※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況 ※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>がん医療対策</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どこに住んでいても、どんながんになっても、適切で安心・安全ながん医療を受ける体制が整っています。 ○ 全てのがん患者と家族が、希望に応じて住み慣れた地域で、適切な在宅緩和ケアを受ける体制が整っています。 		がん医療提供体制の向上と均てん化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 連携パスの当圏域への更なる普及と、切れ目のない医療連携を推進するため、連携パスの円滑な運用を図る必要があります。地対協、医師会及び関係医療機関は、連携パスの圏域への普及と円滑な運用に取り組みます。 ○ 県境を越えた診療連携クリティカルパスの運用について検討します。 ○ がん医療水準は着実に向上していますが、情報も少なく十分な医療体制が整っていない5大がん以外のがんについても、広島県の動きに呼応して適切な医療体制の現状把握や情報収集に努めます。 ○ 周術期における口腔管理について、歯科と医療機関の連携を図ります。 	<p>平成26年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成27年度の実施状況等に時点修正してください。 〔不要なものは削除、変更・追加は赤字で記載してください。〕</p> <p>〔深安地区医師会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○乳がんのパスは順調に運営されていると思います。他のがんについても徐々に施術が増えていると思います。 <p>〔府中地区医師会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○連携パスへの普及、参加を奨励しました。 <p>〔福山市歯科医師会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○周術期における口腔管理について、福山市歯科医師会では従来の福山医療センター、福山市民病院、日本鋼管福山病院、井上病院に加え、平成26年11月より楠本病院とも連携を図ることとしました。 <p>〔福山市民病院〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域がん診療連携拠点病院として、福山・府中二次医療圏における質の高いがん医療の提供、がん診療・連携の円滑な推進を図りました。 ・研修会(がん診療連携フォーラム)の実施 ・市民公開講座の開催 ・がん登録、5大がんを中心とした地域連携クリティカルパスの整備・運用 ・がん相談支援センターの設置による情報提供及び収集等に取り組んでいる。 ○2013年度(平成25年度)から、診療科に歯科口腔外科を設置、口腔顎顔面外傷や口腔腫瘍の診療機能を整備しました。 ○PET-CTの導入による地域がん診療の医療水準の向上に努めています。 <p>〔中国中央病院〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○連携パスの運用促進を図りました。 <p>〔日本鋼管福山病院〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○悪性腫瘍患者様の術前に歯科受診を実施、口腔ケア(歯式・歯茎検査・ブラッシング指導・スケーニング等)、マウスガード作成を行っています。 			

疾病・事業	疾病・事業の達成状況 ※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況 ※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>がん医療対策</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どこに住んでいても、どんながんになっても、適切で安心・安全ながん医療を受ける体制が整っています。 ○ 全てのがん患者と家族が、希望に応じて住み慣れた地域で、適切な在宅緩和ケアを受ける体制が整っています。 		緩和ケア体制の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ がん診療連携拠点病院を中心に研修会等を実施します。 ○ 医療機関は、緩和ケア病床の整備を進めるとともに、在宅緩和ケアを推進するための支援体制の構築に取り組みます。 ○ がんと診断された時から、緩和ケアの提供を図るとともに、がん末期医療の緩和ケアにおける医療機関との連携を推進します。 	<p>平成26年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成27年度の実施状況等に時点修正してください。 〔不要なものは削除、変更・追加は赤字で記載してください。〕</p> <p>【福山市医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成26年5月30日、11月7日に福山市医師会主催で緩和ケアの講演会を開催し、医療従事者等の資質向上並びに連携を図りました。 ○広島県「地域在宅緩和ケア推進モデル事業」を受託し、緩和ケア体制の構築・推進のため検討を行いました。 <p>【深安地区医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○在宅緩和ケア講演会開催を後援しました。 <p>【府中地区医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○緩和ケア研修会への参加を勧奨しました。 <p>【福山医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成26年9月21日と23日に、がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会を開催しました。 <p>【福山市民病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○緩和ケア病床16床を有すとともに、緩和ケアチームを組織し、緩和ケア病床以外の院内での緩和ケア提供も行っています。 ・緩和ケア病床で家族を亡くした患者遺族の交流会「きずなの会」実施 ・在宅緩和ケアチーム研修への参画(広島県緩和ケア支援センター主催事業) ○がん診療連携拠点病院として、厚生労働省の認可を受けた県のプログラムにより「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」及びがん診療連携フォーラムとして講演会「がん・非がんを問わない全人的医療～緩和ケアから地域ケア～」を実施しました。 <p>【中国中央病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○緩和ケア講演会を開催しました。 ・平成26年9月18日「終末期のコミュニケーションについて」 ・平成27年1月29日「終末期のせん妄」を開催しました。 <p>【日本鋼管福山病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○緩和ケアの研修を終了した医師及び専任の看護師による診療体制を構築しており、平成26年5月から新設された「がん患者指導管理料2」の届出も行いました。 <p>【地対協】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広島県緩和ケア支援センターが開催する、在宅緩和ケア講演会「在宅ホスピスケアと医の原点」を支援(後援)しました。 			

疾病・事業	疾病・事業の達成状況 ※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況 ※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
脳卒中対策 【目指す姿】 ○ 急性期から回復期、維持期までの切れ目のない保健・医療・福祉サービスの提供体制が構築され、関係機関相互の連携体制が整っています。 ○ 適切な病院前救護活動が可能で、搬送先医療施設への円滑な搬送が行える体制が整っています。		脳卒中医療連携体制の推進	○ 備後脳卒中ネットワーク及び計画管理病院は、引き続きネットワークの充実に努め、回復期から在宅までの医療連携を促進します。 ○ 在宅におけるADLを維持向上するために、退院後の通院、在宅医療を担う病院・診療所や、リハビリテーション等の医療系サービスを担う介護サービス事業所まで含めた連携を行い、退院後も切れ目のない医療・介護サービスを提供する体制を構築します。	平成26年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成27年度の実施状況等に時点修正してください。 [不要なものは削除、変更・追加は赤字で記載してください。]		—	
				【松永沼隈地区医師会】 ○平成26年11月15日に開催された、備後脳卒中ネットワーク市民公開講座「スロージョギングで脳と体が変わる！」に共催しました。			
		救急搬送体制の充実	○ 地対協等関係団体は、PCECコースの受講支援や、救急搬送体制の充実と連携を図ります。	【備後脳卒中ネットワーク】 ○備後脳卒中地域連携を考える会を開催し、「広島県における脳卒中地域連携パスの現状」に関する講演や、備後脳卒中連携パスの運用事例を報告し、意見交換を行いました。 ○備後脳卒中ネットワークシンポジウムを開催し、「脳卒中の摂食嚥下・誤嚥性肺炎を予防するための連携」をテーマに、講演会やパネルディスカッションを実施しました。 ○市民公開講座「スロージョギングで脳と体が変わる！」を開催し、脳卒中の予防に関する普及啓発を行いました。 ○福山ISLS(脳卒中初期診療)コース(主催:NPO救命おかやま)を共催しました。 ○FIM講習会を開催し、脳卒中連携パスを運用する施設間の評価尺度を標準化するための研修を実施しました。 ○びんご医療介護連携の会を開催し、「医療と介護の連携～地域とともに～」をテーマとした講演と、ワールドカフェを行いました。 ○福山市医師会等と共催し、「救急医療セミナー(PCECコース)」を実施しました。		—	
				【福山地区消防組合】 ○平成26年9月7日に、福山市医師会、福山市、福山・府中地域保健対策協議会、福山地区消防組合が主催し、福山府中圏域MC協議会が共催する、PCECコースを実施しました。 指導者：39名、受講生：24名			
				【地対協】 ○救急医療委員会と圏域MC協議会の合同会議を開催し、圏域における救急搬送の状況や、福山方式救急搬送病名登録システム等について協議しました。 ○NPO法人備後脳卒中ネットワーク、福山市医師会、福山市、福山地区消防組合と共催し、「救急医療セミナー(PCECコース)」を開催しました。(受講者24名)			

疾病・事業	疾病・事業の達成状況 ※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況 ※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
急性心筋梗塞対策 【目指す姿】 ○ 当圏域においては、急性心筋梗塞の急性期医療体制は概ね整っていることから、関係する医療機関、医師等の医療従事者、県、市町、消防機関等が連携して、発症予防、救護、回復期の地域連携サポート体制の構築に取り組むことで、急性心筋梗塞の総合的な医療連携体制の構築を目指します。 ○ 急性期から回復期、再発予防まで地域連携クリティカルパスの利用等により、切れ目のない医療連携体制が構築されています。 ○ AEDが普及し、PAD(非医療従事者による早期除細動)が広く適切に運用されています。	医療連携体制の構築	○ 心筋梗塞の再発と新たな梗塞の予防のためには、患者に対する適切な教育や、地域連携クリティカルパスを活用した、かかりつけ医との連携によるケアの継続性の確保と、質の向上を図ります。	[府中地区医師会] ○生活習慣病発症の予防に向けての小冊子を作成し、市民へ配布しました。	平成26年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成27年度の実施状況等に時点修正してください。 [不要なものは削除、変更・追加は赤字で記載してください。]		—	
	AED(自動体外式除細動器)の普及・啓発	○ PAD(非医療従事者による早期除細動)を目的に、AED(自動体外式除細動器)の設置・促進、普及啓発等に努めます。	[深安地区医師会] ○各医療機関にAEDを設置しています。 ○救急の日「救急法等講習会」を開催し、講演後、消防署による救急活動デモンストレーションとAED実技講習を実施しました。市民の参加者77名へ「CAB+Dカード」を配布しました。 [松永沼隈地区医師会] ○平成26年9月11日に救急法等講習会を開催し、医療・福祉従事者、地域住民等に対してAEDの普及啓発を図りました。 [府中地区医師会] ○6月に市民のための救急医療講演会を開催し、併せて消防署によるAED実技講習も実施しました。医療関係者及び多くの市民が参加。市民の参加者116名へ「CAB+Dカード」を配布しました。 ○9月の救急の日に「救急法等講習会」を開催し、講演の後、併せて消防署による講演とAED実技講習も実施しました。医療関係者及び多くの市民が参加(参加者85名)し「CAB+Dカード」を配布しました。 [中国中央病院] ○これまでに、AEDを院内に全6台整備しました。 1階 外来救急室 1台 1階 リハビリ室 1台 2階 生理検査室 1台 3階 3南病棟 1台 4階 4南病棟 1台 5階 5南病棟 1台 [日本鋼管福山病院] ○これまでに、AEDを院内6カ所(6台)に設置しました。 総合受付 1台 健診センター 1台 西4病棟 1台 南4病棟 1台 南5病棟 1台 CT室 1台 [府中市] ○医師会主催の「救急医療講演会(6月)」、「救急法等講習会(9月)」において、心肺蘇生法及びAED使用実技指導を後援しました。 [福山地区消防組合] ○各署所で実施する救命講習をはじめ、バラ祭り、ふれあい福祉祭り等での広報を実施しました。 [地対協] ○各地区医師会と福山地区消防組合が共催する「救急法等講習会」の支援(後援)を行いました。				

疾病・事業	疾病・事業の達成状況 ※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況 ※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>糖尿病対策</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県民が糖尿病について正しい知識を持ち、適切な生活習慣を確立することで、糖尿病を予防します。 ○ 患者自身が正しい理解し、自覚を持って健康管理を行うことにより、病状の進行や合併症の併発・重症化が減少します。 ○ 医療連携体制が整い、糖尿病の進行や合併症の発症・重症化が減少します。 		医療連携体制の構築	<p>○ 医療機関は、治療継続、症状管理、合併症予防のため、地域における各機能に応じた医療機関の連携を推進します(地域連携クリティカルパスの導入など)。</p>	<p>平成26年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成27年度の実施状況等に時点修正してください。 〔不要なものは削除、変更・追加は赤字で記載してください。〕</p> <p>〔福山市医師会〕 ○世界糖尿病デーにあわせて、平成26年11月9日の11時から15時まで福山地区ブルーサークルイベントとして血糖測定サービスを行い、糖尿病予防対策の推進を行いました。(血糖測定656名、眼底撮影69名)また、芦田川大橋のブルーライトアップを平成26年11月14日から16日の日没から22時まで行いました。</p> <p>〔松永沼隈地区医師会〕 ○平成26年11月9日の世界糖尿病デー福山地区イベントを後援しました。</p> <p>〔府中地区医師会〕 ○府中市の依頼で地域健康教育(糖尿病予防)に講師を派遣しました。</p> <p>〔中国中央病院〕 ○多職種と協働して、糖尿病教室を開催しました。 ○糖尿病認定看護師による療養の支援、指導を行いました。 ○紹介医、かかりつけ医と連携し、定期的なフォローを実施しました。</p> <p>〔神石高原町〕 ○特定健診(集団)結果により、特定保健指導を実施しました。 ○国保レセプトにより、糖尿病治療中の方で40～64歳の58人を訪問にてフォローしました。(重症化予防)</p>		—	

疾病・事業	疾病・事業の達成状況 ※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況 ※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>精神疾患</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な地域で医療やサービス支援を受けられる体制が整っています。 ○ 医療機関の連携による必要な医療を受けられる体制が整っています。 ○ 認知症患者に対する医療・支援体制が充実しています。認知症の地域連携クリティカルパスを圏域内全域で導入されています。 <p>(第5期ひろしま高齢者プランにおいて、地域連携バスを平成32年度末までに、県内全域(22地域)に導入することを目標としています。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自殺死亡率(人口10万対)を16.8まで減少させます。 <p>(広島県自殺対策推進計画において、県の自殺死亡率(人口10万対)を平成27年度末までに16.8まで減少させることを目標としています。)</p>	<p>精神保健に関する啓発相談体制の充実</p>	<p>○ こころの健康問題の正しい理解のために、あらゆる機会を通じて普及啓発を行います。</p> <p>○ 保健所・市町での相談体制を維持向上させ、住民が身近な地域において精神保健福祉に関する相談が受けられる体制を整備し、住民のこころの健康の保持増進を図ります。</p> <p>○ ひきこもり・自殺やうつ等の専門相談を実施し、個別相談に応じるとともに、必要に応じて関係機関と連携し、当事者及び家族への支援を行います。</p>	<p>実施状況</p> <p>平成26年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成27年度の実施状況等に時点修正してください。 【不要なものは削除、変更・追加は赤字で記載してください。】</p> <p>〔府中地区医師会〕 ○府中地域産業保健センターとしてメンタルヘルス相談日(年3回)を開催しました。 ○府中市の依頼で健康教育(うつ自殺対策, 認知症予防)に講師を派遣しました。 ○メンタルヘルスパフレットを配布しました。</p> <p>〔福山市〕 ○精神保健福祉相談日を開設しました。 ○市民啓発として、精神保健福祉講演会や健康教室を実施しました。 ○家族等を対象とした、家族教室・家族交流会を開催しました。</p> <p>〔府中市〕 ○心の健康相談を開設しました。 ・精神保健福祉士による相談(毎月2回)、精神科医師による相談(年1回)、心のケア相談(集団健診ではストレスチェックを行い、必要者に心の相談や専門機関を紹介, 22日間) ○心の健康問題の正しい理解のため啓発講演会を開催しました。 ・精神保健福祉講演会(6・9・10・2・3月(予定)) ○人材育成研修会を開催し、支援者育成と、支援者自身の心のメンタルヘルスクアを推進しました。 ・管理監督者研修会(10・11月) ・メンタルサポート支援者研修会(8・9・10月) ・精神保健福祉ボランティア研修会(7月) ○啓発活動を実施しました。 ・うつ・自殺予防啓発パンフレット配布 ・自殺対策キャンペーン事業(9・3月) ○会議の運営によるネットワーク間及び関係機関の連携を深め、当事者・家族の支援を行いました。</p> <p>〔神石高原町〕 ○定期相談を実施しました。 ・年間計画表を作成し、配布 ・精神科医師、精神保健福祉士、保健師を中心に予約制にて実施 ○障害ボランティア活動を実施しました。 ・継続研修 ・ゲートキーパーの新規養成 ・各事業への支援・援助 ○当事者支援を実施しました。 ・家族会支援 ・毎月ソーシャルクラブ実施 ・障害者サロンの実施 ○社会資源の活用を図りました。 ・作業所での相談会実施 ・障害担当者会議毎月実施 ・障害支援事業所の活用</p> <p>〔東部保健所福山支所〕 ○専門医等によるこころの健康相談を府中市で年2回、神石高原町で年6回、当所で年12回実施した。うち年5回は不眠相談として実施。また、保健師による電話や来所相談を随時実施し、必要に応じて専門医相談につなぎました。 ○市町等関係機関がかかえる困難事例の相談に応じ、関係機関と連携を図り、早期受診等の対応を行いました。</p> <p>〔地対協〕 ○うつ・自殺対策として、産業保健関係者研修会を2回実施し、メンタルヘルス対策の取組みや地域連携の必要性について啓発を行いました。 ○不眠に悩む人に相談・受診を促すため、のぼり旗「眠れていますか」を配布しました。 ○悩みやストレスを抱えた人に相談を促し、ストレス対処方法を示すため、啓発資料を関係機関を通じて配布しました。</p>				

疾病・事業	疾病・事業の達成状況 ※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況 ※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>精神疾患</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な地域で医療やサービス支援を受けられる体制が整っています。 ○ 医療機関の連携による必要な医療を受けられる体制が整っています。 ○ 認知症患者に対する医療・支援体制が充実しています。認知症の地域連携クリティカルパスを圏域内全域で導入されています。 <p>(第5期ひろしま高齢者プランにおいて、地域連携パスを平成32年度末までに、県内全域(22地域)に導入することを目標としています。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自殺死亡率(人口10万対)を16.8まで減少させます。 <p>(広島県自殺対策推進計画において、県の自殺死亡率(人口10万対)を平成27年度末までに16.8まで減少させることを目標としています。)</p>	<p>住み慣れた身近な地域で医療やサービス支援を受けられる体制の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 措置入院者等の退院後の病状の再燃、悪化等による再措置、再入院を可能な限り未然に防止するため、退院前関係者会議を実施し、早期に支援を開始することにより地域生活への円滑な移行を推進します。 ○ 市町、保健所、精神科医療機関、訪問看護ステーション等は関係機関と連携し、患者の病状に応じた医療面・生活面のアウトリーチ支援を推進することにより、患者の地域生活の定着を図ります。 ○ 医療的支援のみならず、住居・収入の確保・身の回りの生活等の福祉的支援などの包括的な支援を行い、必要な支援が適切に提供される体制の整備に努めます。 	<p>【神石高原町社会福祉協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 権利擁護事業(かけはし)を広島県社会福祉協議会から受託し実施しました。現在3名の精神疾患の方の金銭管理を行っています。 ○ 軽微な日常生活支援サービスとして「神石さわやかネット」を実施しました。主には、通院介助、掃除の支援を行いました。 <p>【福山市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 措置入院者等の退院後の病状の再燃、悪化等による再措置、再入院を可能な限り未然に防止するため、退院前関係者会議を実施しました。 <p>【府中市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 退院前関係者会議に参加し、早期に支援を開始することにより地域生活への円滑な移行を推進しました。 ○ 訪問や相談、ケース会議により、患者の病状に応じた医療・福祉的支援等を進めました。 ○ 福祉サービスの利用を推進しました。 <p>【神石高原町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地対協、保健所主催の研修会へ参加しました。 ○ 障害担当者会議の活用を図りました。 <p>【東部保健所福山支所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 措置入院患者等の退院前に、退院後の地域生活を円滑にするとともに、再びの病状悪化を防ぐため、本人、家族と市町、医療機関等の関係者を交え退院前会議を開催しました。 				

平成26年度の実施状況等が記載されていますので、
◆平成27年度の実施状況等に時点修正してください。
【不要なものは削除、変更・追加は赤字で記載してください。】

疾病・事業	疾病・事業の達成状況 ※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況 ※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>精神疾患</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な地域で医療やサービス支援を受けられる体制が整っています。 ○ 医療機関の連携による必要な医療を受けられる体制が整っています。 ○ 認知症患者に対する医療・支援体制が充実しています。認知症の地域連携クリティカルパスを圏域内全域で導入されています。 <p>(第5期ひろしま高齢者プランにおいて、地域連携パスを平成32年度末までに、県内全域(22地域)に導入することを目標としています。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自殺死亡率(人口10万対)を16.8まで減少させます。 <p>(広島県自殺対策推進計画において、県の自殺死亡率(人口10万対)を平成27年度末までに16.8まで減少させることを目標としています。)</p>	<p>医療機関等の連携による必要な医療を受けられる体制の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 精神疾患により速やかな医療が必要なものに対し、迅速かつ適切な医療を提供するため、地域の精神保健指定医、精神科病院、精神科診療所、精神科救急医療施設と連携し、地域精神科救急医療の充実を図ります。 ○ 医療・行政・警察・消防等の関係者による連絡会議を開催し、関係者相互の連携を強化し、緊急時に適切な支援を行える体制の整備を図ります。 ○ 勤労者世代へのうつ・自殺予防対策に係る地域関係機関の連携及び自殺ハイリスク者対策を推進し、うつ・自殺対策に係る産業医・かかりつけ医と精神科医の医療連携によるサポートシステムの構築を図ります。 ○ 身体疾患を合併する精神疾患患者に対する精神科医療機関と内科医等の情報共有の仕組みや、診療協力体制等、医療連携ネットワークの構築に努めます。 	<p>実施状況</p> <p>平成26年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成27年度の実施状況等に時点修正してください。 【不要なものは削除、変更・追加は赤字で記載してください。】</p> <p>〔深安地区医師会〕 ○産業医・精神科医・企業関係者による討論会(うつ・自殺対策医療連携協議会)を行いました。</p> <p>〔府中地区医師会〕 ○かかりつけ医と精神科医の紹介連携システムの活用を図りました。(H22.2月から府中地区医師会として稼働)</p> <p>〔福山市〕 ○圏域の地域保健対策協議会へ参画し、うつ・自殺対策に係る産業医・かかりつけ医と精神科医の医療連携によるサポートシステムの構築を図りました。</p> <p>〔府中市〕 ○メンタルヘルス支援ネットワーク実務者会議(2回)、ケース会議の開催により、緊急時に対応できる支援体制の整備を図りました。 ○事業場健康づくり推進委員会(11月・3月)を開催し、事業場のうつ・自殺対策を協議し、事業の推進を図りました。 ○うつ・自殺対策に係る産業医・かかりつけ医と精神科医の医療連携によるサポートシステムの推進を行いました。</p> <p>〔東部保健所福山支所〕 ○緊急時に速やかに適切な医療が提供できるよう、緊急対応連絡会議を開催し、行政、警察、消防署等の関係者と当圏域における精神障害者の緊急対応等の状況について、情報共有及び検討の場を持ちました。 ○土日休日の精神保健福祉措置診察の実施体制を確保するため、東部圏域の精神科救急医療施設と連携し、精神保健指定医の輪番による待機体制(年間121日)を、医療機関の協力のもと東部保健所と連携し実施しました。</p> <p>〔地対協〕 ○職域における産業医、かかりつけ医、精神科医等の医療連携を図るため、参考資料集を作成・配布します。(予定)</p>	<p>—</p>	<p>—</p>		

疾病・事業	疾病・事業の達成状況 ※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況 ※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>精神疾患</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な地域で医療やサービス支援を受けられる体制が整っています。 ○ 医療機関の連携による必要な医療を受けられる体制が整っています。 ○ 認知症患者に対する医療・支援体制が充実しています。認知症の地域連携クリティカルパスを圏域内全域で導入されています。 <p>(第5期ひろしま高齢者プランにおいて、地域連携パスを平成32年度末までに、県内全域(22地域)に導入することを目標としています。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自殺死亡率(人口10万対)を16.8まで減少させます。 <p>(広島県自殺対策推進計画において、県の自殺死亡率(人口10万対)を平成27年度末までに16.8まで減少させることを目標としています。)</p>	<p>認知症患者に対する医療・支援体制の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ オレンジドクターや認知症疾患医療センター等の医療機関情報をわかりやすく提供するとともに、市町等と連携して早期相談・早期受診の促進に努めます。 ○ 認知症疾患医療センターにおいて、認知症疾患に関する鑑別診断、行動・心理症状(BPSD)の治療、急性期の身体合併症への対応、専門医療相談等を実施し、早期からの専門的な医療が提供できる体制整備を図ります。 ○ 適切な医療とケアを提供するため、医療と介護が連携して患者・家族を支援できる体制の構築を推進し、認知症の地域連携クリティカルパスが圏域内全域で導入されるよう努めます。 ○ 認知症患者の退院支援に当たって、精神科医療機関と地域包括支援センター、介護サービス事業者等との連携に努めます。 	<p>実施状況</p> <p>平成26年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成27年度の実施状況等に時点修正してください。 〔不要なものは削除、変更・追加は赤字で記載してください。〕</p> <p>〔福山市医師会〕 ○在宅医療推進拠点整備事業において、当地区における認知症患者に対する医療支援体制について確認し、検討を行いました。</p> <p>〔深安地区医師会〕 ○オレンジドクター養成研修のリーフレットを配布し、関係医療機関各医師が研修に参加しました。</p> <p>〔松永沼隈地区医師会〕 ○認知症サポート医・かかりつけ医について、ホームページへ掲載しました。(予定)</p> <p>〔福山市〕 ○認知症について正しく理解し、認知症の人と家族を見守り、支援するための認知症サポーター養成講座を、地域、企業、小中学校等で実施しました。また、講座修了者を対象に、認知症サポーターステップアップ研修を実施し、地域でのボランティア活動を推進しました。 ○認知症サポーター養成講座の講師を務めるキャラバン・メイトの資質向上のため、研修会を実施しました。今年度は、認知症地域支援推進員を招いて研修を実施しました。</p> <p>〔府中市〕 ○オレンジドクターについて市ホームページに掲載しました。(毎年4月更新) ○認知症疾患医療センター等の医療機関と連携し早期相談・早期受診の促進を図りました。 ○かかりつけ医と連携を図り、認知症疾患専門医療機関受診支援を行いました。 ○かかりつけ医、認知症疾患専門医療機関、介護支援専門員、介護保険サービス事業者等関係機関との調整を図り本人やその家族を支援しました。</p> <p>〔神石高原町〕 ○認知症について正しく理解し、認知症の人と家族を見守り、支援するための認知症サポーター養成講座を地域・小中学校等で実施しました。 ○町立病院のもの忘れ外来と連携し、早期相談・受診の促進を図りました。</p> <p>〔東部保健所福山支所〕 ○保健師による電話や来所相談を実施し、必要に応じて専門医による相談につながりました。また、専門医によるこころの健康相談を府中市で年2回、神石高原町で年6回開催しました。 ○市町等関係機関がかかえる困難事例の相談に応じ、関係機関と連携を図り、早期受診等の対応を行いました。</p>	<p>・平成25年2月に、光の丘病院が認知症疾患医療センターに指定されました。</p>			

疾病・事業	疾病・事業の達成状況 ※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況 ※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>救急医療対策</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 初期救急医療体制を整備し、広域的な運営体制が確保できています。 ○ 「傷病者の搬送及び受入に関する実施基準」の運用状況を適切に分析・評価することによって、広域的な視点も含め、当圏域における症候別搬送を基本とした救急医療体制のあり方について検討を行います。 	救急医療体制の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福山夜間成人診療所の広域的な運営が円滑に行われるよう連携を図ります。 ○ 市町は、初期救急患者の受診が適切に行われるよう、住民啓発活動を積極的に実施します。 ○ 県境を越えた搬送やドクターヘリの運航など三次救急医療にかかる連携の推進を図ります。 ○ 病名登録システムの運用によるデータに基づき、症候別搬送を基本とした救急医療体制のあり方を検討します。 	<p>〔福山市医師会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 救急医療体制の充実のため、関係機関の協力により、休日当番医体制を実施しました。休日診療は内科2・小児科1の3医療機関体制で運営しました。 ○ 小児科医療費の無料化などの影響もあり、小児科患者が増えてきたため、平成20年度からインフルエンザや感染症胃腸炎などで患者が多くなる時期(12月14日から3月8日まで)に限り、小児科を1医療機関増やして行いました。 ○ 救急小冊子を作製し、医療機関へ配布しました。 ○ 救急の日に講演会を開催しました。 ○ 福山夜間成人診療所の運営に協力しました。 <p>〔深安地区医師会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 福山夜間成人診療所への医師の出務を実施しました。 ○ 救急の日に市民への啓蒙講演会を開催しました。 ○ 救急患者のデータをフィードバックし、救急医療体制の構築に協力しました。 <p>〔松永沼隈地区医師会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成25年5月27日に開設した福山夜間成人診療所の運営に協力し、医師の出務を実施しました。 ○ 平成26年9月11日に救急法等講習会を開催し、医療・福祉従事者、地域住民等に、救急医療及び救急業務への啓発を図りました。(福山地区消防組合と共催) <p>〔府中地区医師会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 休日当番の運営(調整、広報、実施)を行いました。 ○ 福山夜間成人診療所の運営及び医師の出務に協力しました。 ○ 6月開催の市民のための救急医療講演会で、二次救急病院より「救急医療体制の現況について」の講演を行いました。 <p>〔福山市薬剤師会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域輪番制による休日当番薬局の調整、広報(救急医療NET)を行いました。 ○ 福山夜間成人診療所での出務薬剤師のシフトの作成及び調剤、服薬指導業務に協力しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年5月から、福山夜間成人診療所が診療を開始しました。 ・平成25年5月から、広島県ドクターヘリが本格運行を開始しました。 ・平成26年6月、国の「新たな広域連携モデル構築事業」に備後圏域(6市2町)が選ばれ、平成27年2月に成長戦略「びんご圏域ビジョン」がまとめられました。 			

平成26年度の実施状況等が記載されていますので、
◆平成27年度の実施状況等に時点修正してください。
〔不要なものは削除、変更・追加は赤字で記載してください。〕

疾病・事業	疾病・事業の達成状況 ※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況 ※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>救急医療対策</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 初期救急医療体制を整備し、広域的な運営体制が確保できています。 ○ 「傷病者の搬送及び受入に関する実施基準」の運用状況を適切に分析・評価することによって、広域的な視点も含め、当圏域における症候別搬送を基本とした救急医療体制のあり方について検討を行います。 	救急医療体制の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 福山夜間成人診療所の広域的な運営が円滑に行われるよう連携を図ります。 ○ 市町は、初期救急患者の受診が適切に行われるよう、住民啓発活動を積極的に実施します。 ○ 県境を越えた搬送やドクターヘリの運航など三次救急医療にかかる連携の推進を図ります。 ○ 病名登録システムの運用によるデータに基づき、症候別搬送を基本とした救急医療体制のあり方を検討します。 	<p>実施状況</p> <p>平成26年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成27年度の実施状況等に時点修正してください。 【不要なものは削除、変更・追加は赤字で記載してください。】</p> <p>〔福山市民病院〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県東部唯一の救命救急センターとして、24時間体制でより重篤な三次救急の患者に対応しました。 ○ ヘリポートも備えるとともに、山陽自動車道福山東ICに近く、県東部に位置するところから、尾道・三原を含む県東部、さらには岡山県笠岡・井原地区までを包含した広域エリアを対象としています。 ○ 福山市民病院救命救急センター連絡協議会を組織し、医療及び消防の関係機関で協議、協力体制を構築しています。 <p>〔中国中央病院〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外科医不足のため2次救急の外科のみ免除日を設けました。 ○ ひろしま医療情報ネットワーク(HMネット)へ参加しました。 <p>〔神石高原町立病院〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 救急告示医療機関の神石高原町立病院において、福山・府中地区二次救急医療機関と連携を図りながら町内の救急患者の受入を行っています。 ○ 消防署との定期会議を開催し、スムーズな救急搬送体制を図っています。 ○ ドクターヘリを活用した連携を行いました。 <p>〔福山市〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 福山夜間成人診療所において、準夜帯における圏域の初期救急患者の対応を行っています。 ○ 市広報やホームページへ適正受診の啓発記事を掲載しました。 ○ 2014年12月に、全戸配布された「福山市暮らしの便利帳」に、救急医療を含めた福山夜間成人診療所の特集記事を掲載することにより、さらなる啓発を行いました。 <p>〔府中市〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 初期救急患者の適切な受診に向けた住民啓発を行いました。 ・地区医師会と連携し、休日当番医制等初期救急医療体制の確保に努めるとともに広報等を通じて周知に努めました。 <p>〔東部保健所福山支所〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県救急医療情報ネットワークシステムの機器更新を行いました。 <p>〔地対協〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 救急医療委員会と圏域MC協議会の合同会議を開催し、福山夜間成人診療所の運営状況、福山方式救急病名登録システムの運用データ、圏域の搬送状況等について協議を行いました。 ○ 「傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」の医療機関リストが、現在の医療機関の実情を反映したものとなるよう、見直しを行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年5月から、福山夜間成人診療所が診療を開始しました。 ・平成25年5月から、広島県ドクターヘリが本格運行を開始しました。 ・平成26年6月、国の「新たな広域連携モデル構築事業」に備後圏域(6市2町)が選ばれ、平成27年2月に成長戦略「びんご圏域ビジョン」がまとめられました。 			

疾病・事業	疾病・事業の達成状況 ※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況 ※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>救急医療対策</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 初期救急医療体制を整備し、広域的な運営体制が確保できています。 ○ 「傷病者の搬送及び受入に関する実施基準」の運用状況を適切に分析・評価することによって、広域的な視点も含め、当圏域における症候別搬送を基本とした救急医療体制のあり方について検討を行います。 	救急搬送・MC体制の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県境を越える搬送と搬送基準の運用について相互理解を含めた連携体制の強化を図ります。 ○ 医療従事者等の資質向上のため、シミュレーション型研修の充実・強化を図ります。 	<p>平成26年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成27年度の実施状況等に時点修正してください。 【不要なものは削除、変更・追加は赤字で記載してください。】</p> <p>【福山市医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 救急医療体制の充実のため、平成26年5月29日、12月14日、平成27年3月15日に福山市医師会ICLS講習会を開催し、医療従事者の資質向上を図りました。 ○ 平成26年5月28日に、ICLSインストラクターの養成を目的とした福山市医師会ICLS講習会指導者養成ワークショップを開催しました。 ○ 平成27年3月14日に、福山市医師会BLS講習会を開催し、医療関係者等の資質向上を図りました。 ○ 平成26年9月7日に、救急の日にあわせた取り組みとして「救急医療セミナー」を開催し、医療従事者の資質向上を図りました。 ○ 平成26年11月13日に、地域の関係者を対象とした救急講演会を開催しました。 <p>【深安地区医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 二次救急病院を中心に連携体制づくりに協力しました。 ○ シミュレーション型研修会へ参加しました。 <p>【福山医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成26年12月8日から平成26年12月17日まで、「平成26年度 救急救命士 病院実習」を行いました。 <p>【神石高原町立病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 神石高原町内の医療従事者を対象とした救急蘇生講演会を開催し、職員の資質向上に努めました。 <p>【福山地区消防組合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 福山府中圏域MC協議会が主催して、JPTECプロバイダーコースを実施しました。 実施日：平成27年3月15日（日） 指導者：約50名 受講生：約30名 ○ 広島県消防学校が主催する、救急科を受講しました。 実施日：（前期）平成26年11月～12月 ：（後期）平成27年1月～2月 入校生：前後期約18名 ○ 広島県消防学校が主催する、救命士教育コースを受講しました。 実施日：（前期）平成26年10月 ：（後期）平成27年3月 入校生：前後期約6名 ○ 広島県消防学校が主催する、ビデオ硬性気管挿管講習を受講しました。 実施日：平成26年5月 入校生：3名 <p>【地対協】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 救急医療委員会と圏域MC協議会の合同会議を開催し、医療従事者等の資質向上のための研修会の実施方法等について協議しました。 ○ NPO法人備後脳卒中ネットワーク、福山市医師会、福山市、福山地区消防組合と共催し、シミュレーション型研修「救急医療セミナー（PCECコース）」を開催しました。（受講者24名） 				

疾病・事業	疾病・事業の達成状況 ※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況 ※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
災害医療対策 【目指す姿】 ○ 災害拠点病院, DMAT, その他の医療機関, 医師会及び防災関係機関が連携して, 災害時医療救護体制を確立しており, 災害発生時には, 迅速かつ確に医療救護活動を実施し, 慢性期の医療等日常的な医療への円滑な引継ぎが行われます。		災害時に備えた医療救護活動の体制整備	○ 医療活動が災害時に真に機能するための体制を整備・検討します。 ○ 広島県が作成した「災害時医療救護活動マニュアル」(H24.3)に基づいた訓練を実施します。	平成26年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成27年度の実施状況等に時点修正してください。 【不要なものは削除, 変更・追加は赤字で記載してください。】		・平成26年12月に, 福山市及び福山市内の4医師会が見直しをした「災害時の医療救護活動に関する協定」が締結されました。	
		災害拠点病院の機能の充実	○ 災害拠点病院は, 災害対応マニュアルの整備と災害時の医療救護訓練を実施します。	【深安地区医師会】 ○福山市と災害時の医療救護活動について協議し, 協定を締結しました。 【松永沼隈地区医師会】 ○平成25年度広島県地域医療再生事業補助金の災害時の救急医療体制整備事業により購入した資材(発電機等)を各医療機関へ配布しました。 【府中地区医師会】 ○福山市及び4医師会により, 災害時の医療救護活動に関する協定に係る協議を行いました。 【神石高原町立病院】 ○消防署主催の防災訓練に, 神石高原町立病院の医師等が参加し, 災害時医療が円滑に行われるよう取り組みました。 【福山市】 ○「災害時の医療救護活動に関する協定書」について, 内容の見直しを行いました。 ○協定書に定められている「災害医療救護計画」について, 関係団体と協議を行いました。 【東部保健所福山支所】 ○8月に発生した「広島市豪雨災害」において, 広島県災害時公衆衛生チームの一員として, 保健師を延べ11名(9日間)派遣しました。 【地対協】 ○災害時における医療救護活動の調整役である「災害時地域コーディネーター」について, 各地区医師会と連携し, 当圏域から7名の医師を県医師会へ推薦しました。			

疾病・事業	疾病・事業の達成状況 ※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況 ※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
へき地医療対策 【目指す姿】 ○ へき地の医療提供体制を構築する医療機関、医師等の医療従事者、県、市町等が連携し、へき地の住民が、必要なときに適切な医療を受けられる体制が整っています。		へき地医療拠点病院等からの支援体制の充実	○ 神石高原町立病院は、巡回診療、へき地診療所等の支援を実施し、引き続き無医地区の受療機会を確保します。 ○ 福山市民病院は、引き続き神石高原町立病院へ医師を派遣し診療を支援します。 ○ 広島県北部移動診療車の巡回診療体制の充実を図ります。	平成26年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成27年度の実施状況等に時点修正してください。 [不要なものは削除、変更・追加は赤字で記載してください。]		・平成27年6月から、府中市民病院により無医地区に準ずる地域での移動診療車による巡回診療が実施されます。(予定)	
		無医地区等の住民の利便性の確保	○ 神石高原町は「ふれあい号」、府中市は「デマンド型乗合タクシー」により無医地区等の住民の利便性を確保します。	【福山市民病院】 ○「へき地医療拠点病院」である神石高原町立病院に対し、中山間地域医療の安心・安全を守るという広域的な視点に立ち、引き続き医師の派遣による診療支援を実施しました。 【神石高原町立病院】 ○神石高原町立病院は、巡回診療、へき地診療所等への支援を実施し、引き続き無医地区の受療機会を確保しました。 油屋地区巡回診療 23回 高蓋診療所 50回 【府中市】 ○「デマンド型乗合タクシー」を運行しました。 ・「おたっしや号」の運行を無医地区(上下町岡屋・階見)に対し週2回行っている。 【神石高原町】 ○「ふれあい号」により無医地区等の住民の利便性を確保し、週2日運行している。 【東部保健所福山支所】 ○今後のへき地保健医療対策を総合的に検討するための資料とすることを目的とした、「無医地区等調査及び無歯科医地区等調査」を実施しました。			

疾病・事業	疾病・事業の達成状況 ※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況 ※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>周産期医療対策</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県民が安全・安心して必要な周産期医療が受けられる体制が構築されています。 		周産期医療における医療連携体制の推進	○ (総合)周産期母子医療センターとの役割分担と連携により、母体・新生児の安全に考慮した周産期医療体制を確保します。	<p>〔深安地区医師会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一次施設としては井口産婦人科小児科医院が分娩にあたっています。 ○ 新生児を含めた高次医療が必要な場合は、福山医療センターへ依頼しています。 ○ 母体救急の場合は福山市民病院へ、母体合併症がある場合は中国中央病院へ依頼しています。 		-	
				<p>〔福山医療センター〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オープンカンファレンスを開催しました。 ・平成26年6月13日「小児内視鏡外科における最近の知見」 ・平成26年7月25日「新生児脳室-腹腔内シャントの手法と管理のPit Fall」 ・平成26年8月29日「未熟児動脈管開存症の手術と管理」を開催しました。 			
		公的医療機関の分娩機能の充実	○ 分娩機能を維持・確保していくため、公的医療機関の分娩機能の充実を図ります。	<p>〔中国中央病院〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 助産外来を開設し、分娩機能の充実を図りました。 			
		医師の確保と負担軽減	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行政、医療機関、医師会が連携し、大学に対して医師派遣への支援を求めていきます。 ○ 医師の負担を軽減するため就業環境の改善対策に取り組みます。 	<p>〔中国中央病院〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 当直明けに業務過多にならないよう、翌日4時間の特別休暇を取得できる制度を実施しました。 ○ 助産外来を開設することで、医師の負担軽減を図りました。 			
			<p>〔府中市〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大学に対する医師派遣支援を要請しました。 ・積極的に大学病院等に対して医師派遣について要請している。 ○ 平成26年1月11日開催された広島大学ふるさと卒医学生等へのプレゼンテーションを実施しました。 				
		ハイリスク妊娠・分娩への対応	○ 周産期母子医療センターの機能の充実と、県境を越えた搬送について連携を図ります。	<p>〔深安地区医師会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 想定される新生児のリスク度に応じて倉敷中央病院への母体搬送を行っています。 		<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年6月、国の「新たな広域連携モデル構築事業」に備後圏域(6市2町)が選ばれ、平成27年2月に成長戦略「ひんご圏域ビジョン」がまとめられました。 	

疾病・事業	疾病・事業の達成状況 ※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況 ※2	状況の変化	今後の取組方針	
		項目	内容					
小児医療対策 【目指す姿】 ○ 医療機関、医師等の医療従事者、県、市町等が連携して、小児医療提供体制を構築し、住民が必要なときに適切な医療を受けられる体制が整っています。		小児救急医療拠点病院の整備	○ 小児二次救急医療を体制安定的に維持・確保するため、中・長期的な視点で、福山・府中及び井笠地域を広域的に担う小児救急医療拠点病院の整備を検討する。	[松永沼隈地区医師会] ○平成26年11月16日に開催された、第4回小児急性疾患学講座(寄附講座)市民講座を後援しました。 [福山市民病院] ○福山・府中二次医療圏の小児救急病院輪番制病院として、休日・夜間の診療体制の維持・確保に参画しました。 [福山市] ○岡山大学寄附講座において、小児救急医療提供体制の課題と解決策に関して調査・研究を行っています。 [府中市] ○小児救急医療電話相談の活用について、広報等による啓発を実施しました。		・平成25年4月、岡山大学に「小児急性疾患学(寄附講座)」が設置されました。 ・平成26年6月、国の「新たな広域連携モデル構築事業」に備後圏域(6市2町)が選ばれ、平成27年2月に成長戦略「びんご圏域ビジョン」がまとめられました。		
		県境を越える小児二次救急患者の受入れ	○ 消防及び関係医療機関が連携し、県境を越えて相互に小児救急患者を受入れる体制を構築する。	[福山地区消防組合] ○MC協議会の事後検証・症例研究会に相互に参加するなどして、搬送基準の相互理解とMC体制の質の共有化を図りました。		・平成25年4月、岡山大学に「小児急性疾患学(寄附講座)」が設置されました。 ・平成26年6月、国の「新たな広域連携モデル構築事業」に備後圏域(6市2町)が選ばれ、平成27年2月に成長戦略「びんご圏域ビジョン」がまとめられました。		
		救急医療を担う医師の確保対策	○ 県、市町、関係機関等が連携して、医師確保対策に努める。				・平成25年4月、岡山大学に「小児急性疾患学(寄附講座)」が設置されました。	
		医師等の負担軽減	○ 医療従事者の負担を軽減するため、住民への適正受診対策や、医療従事者の就業環境の整備に努め、持続可能な小児救急医療体制の確保に努める。	[中国中央病院] ○積極的に「かかりつけ医」を持ち、逆紹介の推進に努めました。 ○勤務医が専門の治療に専念できるようにしました。 ○医療従事者の組織体制を構築・強化しました。 [日本鋼管福山病院] ○小児二次救急当番日において、小児科医が対応できない患者の診療を行うために、「内科」「外科」「整形外科」のうちの1名を配置しました。 [福山市] ○市広報(年3回掲載)やホームページへ適正受診の啓発記事を掲載しました。 ○適正受診啓発チラシを、赤ちゃん訪問や幼児定期健診等において配付しました。 ○平成26年10月10日、平成26年11月16日に、岡山大学に設置した寄附講座により、小児救急医療に関する講演会を開催し、啓発を図りました。 ○救急連絡先をまとめたマグネットシートを作成し、赤ちゃん訪問などにおいて配布しました。		・平成25年4月、岡山大学に「小児急性疾患学(寄附講座)」が設置されました。		

平成26年度の実施状況等が記載されていますので、
◆平成27年度の実施状況等に時点修正してください。
 [不要なものは削除、変更・追加は赤字で記載してください。]

疾病・事業	疾病・事業の達成状況 ※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況 ※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>在宅医療対策</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 入院初期から退院後の生活を見据えた退院支援を開始しています。 ○ 在宅医療に係る関係機関の相互連携により、在宅療養者のニーズに対応した医療や介護が包括的に提供される体制が、各市町(日常生活圏域)において確保されています。 ○ 在宅療養患者の急変時における24時間対応が可能な連携体制が構築されています。 ○ 終末期には、患者や家族が希望した場所で最期を迎える体制が確保されています。 		在宅医療の提供体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ○ 円滑な在宅療養移行に向けて退院支援が可能な体制を構築します。 ○ 日常の療養支援が可能な体制を構築します。 ○ 急変時の対応が可能な体制を構築します。 ○ 患者が望む場所での看取りが可能な体制を構築します。 	<p>平成26年度の実施状況等が記載されていますので、 ◆平成27年度の実施状況等に時点修正してください。 〔不要なものは削除、変更・追加は赤字で記載してください。〕</p> <p>〔福山市医師会〕 ○福山・府中地区在宅療養支援連携ネットワークにおいて、福山府中地域における在宅医療の円滑な推進(入院から在宅への移行)を図るため、参加する医療機関が緊密に連携して、在宅医療サービスの情報提供および病病、診診連携に必要な活動を行いました。連携のための情報の充実、情報内容の更新、これらをマネージメントする運営基盤について議論を行いました。 ○広島県「地域在宅緩和ケア推進モデル事業」を受託し、緩和ケア体制の構築・推進のため検討を行いました。</p> <p>〔深安地区医師会〕 ○福山・府中地区在宅療養支援連携ネットワークにおいて、在宅医療機関の情報を収集し、必要な機関へ提供しました。</p> <p>〔松永沼隈地区医師会〕 ○福山・府中地区在宅療養支援連携ネットワークにおいて、医療機関情報(在宅における医療行為の対応の可否等)の調査を行い、日常の療養支援体制や急変時の対応体制について情報共有をしました。 ○平成26年9月27日の福山市医師会 市民公開講座「病院でも家でも満足して大往生するコツ」を共催しました。 ○平成26年10月23日に福山市医師会が開催した、在宅医療推進拠点整備事業「多職種連携会」に参加しました。</p> <p>〔府中地区医師会〕 ○インターネットを利用し在宅患者の情報共有を行い、医療・保健・福祉サービスの連携を推進する「在宅医療情報共有システム」の閲覧及び入力、かかりつけ医や訪問看護ステーション、ヘルパーステーションの職員により度々行われました。 ○県の「在宅医療推進拠点整備事業」の実施により、多職種連携による在宅医療の提供体制の構築を推進しました。要介護者登録・緊急時対応システムの構築により、24時間登録者の緊急時見守りを実施しました。医療機関マップに加え介護サービス事業所マップもホームページに掲載しました。また、市民公開講座を「在宅医療いけど、なんじやろうか？ーいつまでも住み慣れた家や地域で暮らしたいー」をテーマに12月に開催しました。 ○かかりつけ医不在時に突然在宅患者や施設入所利用者が死亡した場合に備えて、1年間休日前夜(午後6時)から休日翌朝(午前9時)までを16名の医師が当番制で待機し対応しました。 ○「よくわかる在宅医療&介護」パンフレット作成し配布をしました。</p> <p>〔中国中央病院〕 ○平成26年10月17日に、北地区多職種交流会を開催しました。</p> <p>〔神石高原町立病院〕 ○県の「在宅医療推進拠点整備事業」を受託し、町民が住み慣れた地域で生活できる在宅医療体制の確立を図っています。 ・在宅医療推進会議を開催し、多職種連携情報交換会や在宅医療講演会について協議しました。</p> <p>〔府中市〕 ○地区医師会と連携し「在宅医療推進拠点整備事業」を実施し、患者の急変時の対応など在宅医療の体制の整備に取り組みました。</p> <p>〔地対協〕 ○在宅医療人材育成研修を開催し、「退院支援」をテーマとしたグループワーク等を実施し、病院・有床診療所等で在宅医療に携わる多職種の方々の「顔の見える関係づくり」に取り組みました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年7月に、府中地区医師会・神石高原町立病院が、在宅医療推進拠点整備事業に採択されました。 ・平成25年12月に、福山市医師会が、在宅医療推進拠点整備事業に採択されました。 ・平成26年6月に、医療介護総合確保推進法が成立し、新たな財政支援制度(新基金)により、在宅医療推進に関する事業などが実施されることになりました。 ・平成27年4月に、改正介護保険法が施行され、「在宅医療・介護連携推進事業」が同法の地域支援事業に位置付けられ、市町主体で取組むこととなります。(予定) 		

疾病・事業	疾病・事業の達成状況 ※1	施策の方向		実施状況	項目毎の達成状況 ※2	状況の変化	今後の取組方針
		項目	内容				
<p>在宅医療対策</p> <p>【目指す姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 入院初期から退院後の生活を見据えた退院支援を開始しています。 ○ 在宅医療に係る関係機関の相互連携により、在宅療養者のニーズに対応した医療や介護が包括的に提供される体制が、各市町(日常生活圏域)において確保されています。 ○ 在宅療養患者の急変時における24時間対応が可能な連携体制が構築されています。 ○ 終末期には、患者や家族が希望した場所で最期を迎える体制が確保されています。 		在宅医療の連携体制の構築	<p>○日常生活圏域に在宅医療の中心となる医師をコミュニケーションリーダーとして育成します。</p> <p>○府中市民病院及び府中北市民病院が中心となって、医療・介護・保健が連携して在宅医療体制の構築を図ります。</p> <p>○在宅での緩和ケアのため、麻薬等の薬局間資源の有効利用と地域でのグループ化や、無菌調剤可能施設を増やすなどのサポート体制を構築します。</p> <p>○歯科医療における医療連携、かかりつけ歯科医の推進及び高齢者・障害者に対する地域口腔ケアシステムを構築します。</p>	<p>〔深安地区医師会〕</p> <p>○平成26年10月17日、関係医療機関が多種職交流会に参加をし、連携を図りました。</p> <p>〔松永沼隈地区医師会〕</p> <p>○平成26年11月13日に松永沼隈地区医師会 在宅医療連携の会を開催し、在宅患者の看取りまでの経過・対応について、医師・医療機関スタッフ・地域包括支援センター職員・訪問看護ステーション職員・ケアマネージャー等で協議・検討しました。</p> <p>○近隣基幹病院との地域連携会を開催し、連携のための情報交換、顔の見える関係作りに取り組みました。</p> <p>〔府中地区医師会〕</p> <p>○「在宅医療推進拠点整備事業」の実施により、多職種の連携体制構築を目指している。</p> <p>〔福山市薬剤師会〕</p> <p>○福山市医師会による在宅医療関係者の多職種の会に参加しました。</p> <p>○府中地区医師会による在宅医療推進拠点整備事業の説明会、研修会に参加しました。</p> <p>〔福山市〕</p> <p>○福山市医師会による在宅医療推進運営委員会に参加しました。</p> <p>○府中地区医師会による在宅医療推進拠点整備事業の説明会、研修会に参加しました。</p> <p>○かかりつけ医定着のための市民への啓発事業を実施しました。(予定)</p> <p>〔府中市〕</p> <p>○府中市病院機構(府中市民病院・府中北市民病院)に対して、在宅医療の推進のための負担金等を交付しました。</p> <p>○地域包括ケア推進補助金事業を実施し、医療と介護の連携強化の推進に取り組みました。</p> <p>○府中市健康地域づくり審議会長寿サポート分科会において、在宅医療を含めた地域包括ケアシステムについて検討しました。</p> <p>○府中地区医師会による在宅医療推進拠点整備事業と連携し、在宅医療に取り組みました。また研修会に参加しました。</p> <p>〔神石高原町〕</p> <p>○在宅医療推進会議が中心となって多職種が連携して在宅医療体制の構築を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携情報交換会を開催しました。(7月・12月) ・ICTを活用した在宅医療情報共有システムを活用し、介護、福祉、医療で情報の共有を行的確な対応を行っている。 ・町民へ在宅医療を普及するための「在宅医療講演会」を開催しました。(2月) ・連携部会を定期的に開催しています。(6月・8月・10月・1月) ・在宅医療システム先進地視察を実施しました。(11月) <p>〔地対協〕</p> <p>○保健医療計画委員会を開催し、地域において在宅医療に積極的に取り組む人材を育成するための研修会の実施方法等について協議しました。</p>	<p>・平成25年7月に、府中地区医師会・神石高原町立病院が、在宅医療推進拠点整備事業に採択されました。</p> <p>・平成25年12月に、福山市医師会が、在宅医療推進拠点整備事業に採択されました。</p> <p>・平成26年6月に、医療介護総合確保推進法が成立し、新たな財政支援制度(新基金)により、在宅医療推進に関する事業などが実施されることになりました。</p> <p>・平成27年4月に、改正介護保険法が施行され、「在宅医療・介護連携推進事業」が同法の地域支援事業に位置付けられ、市町主体で取組むこととなります。(予定)</p>		

平成26年度の実施状況等が記載されていますので、
◆平成27年度の実施状況等に時点修正してください。
〔不要なものは削除、変更・追加は赤字で記載してください。〕